

ふるたん Gifu

～親子でふるさと博士に～

ぎふ探求ネットワーク事業



コーナー新設のきっかけをお話します。

みなさんは、自分たちの住んでいる「岐阜市」が、将来、どのようになっていくといいと思っていますか？
細江岐阜市長は、自分の体験もふまえて、若いみなさんに次のように訴えかけています。

“自ら生まれ育ったこの地が、どのような由来を持ち、どのような歴史をはぐくんできたのかを知ることによって、大きくなってから自分の生まれ育った所を、なつかしさと親しみを込めて「ふるさと」と呼べるのだ”と。

私たち岐阜市の大人たちは、将来、この岐阜市で生活するみなさんが、わがまち「ぎふ市」を「ふるさと」として心から愛することができる人になってくれることを願っています。

そこで「エッグ」では、こうした願いを込めて、「ふるさとぎふ探求コーナー」を設けました。このコーナーで、毎回、みなさんの住んでいる地域で活躍しているふるさと博士やふるさと名人をどんどん紹介していきます。

また、地域に根ざしている活動や団体・地域の宝物などもどんどん紹介していきたいと思っています。一人でも多くのみなさんにすばらしい岐阜市をもっとたくさん知ってもらい、岐阜市のよいところたくさん触れてもらいたいからです。

学校がお休みの土・日を利用して、どんどん「岐阜」のまちを歩いてみましょう。今まであまり気にとめなかった所で、思わぬ発見に出くわし、心わくわくといった体験がいっぱいできると思いますよ。自ら求めて、さあ、船出のときです！

やる気まんまん、ぎふっ子たち(1)



こころひとつ

そうでんたいこ

早田太鼓

ひびきわたる



「和太鼓」の響きって、みんなは体感したことがあるかな？「和太鼓」は伝統芸能のすばらしさと歴史を感じさせるものがあり、日本人の「心」ともいわれています。和太鼓って、お祭りにはなくてはならないものですね。

今回、この「和太鼓」の魅力に引かれて、毎週練習に頑張っている子どもたちがいると聞き、取材にうかがいました。

ぎふ早田太鼓(そうでんたいこ)の会

平成元年、大人と子どもたちとのふれあいつくりのためにはじまりました。幼児、小学生、中学生、高校生、青年、そして地域の大人の人たちがメンバーです。地域のイベントをはじめ、各地で開催される催しに参加しています。練習は原則として週1回、日曜日に2時間ほどしています。来年6月15周年記念コンサートを開催します。聞きにきてね。

頑張って練習をしていた小学生にインタビューしました…

早田小4年生 石原凜基くん

お父さんやお兄ちゃんが太鼓をやっていたので、ほくもやってみようと思いました。3年生の時からはやっています。みんなと太鼓をたたくことがとっても楽しいです。太鼓をたたくと、気分がスッキリするところがいいです。



黒野小3年生 早瀬直輝くん

お父さんがやっているのを見て、難しそうだったけど、ほくもやってみたくなりました。太鼓をたたくのは、たのしいし、とっても面白いです。和太鼓は今年2年目だけど、これからもずっと続けたいです。

早田小5年生 渡邊千裕さん

4年生の時、学校で太鼓をたたきました。その時、もっとやってみたくなりました。太鼓の発表会ではじめてやった曲がとても印象に残っています。



早田小5年生 鷲見あきほさん

友だちがやっているのを見て、やりたくなりました。みんなとやるのがすごくたのしいです。将来も、ずっと続けたいなあと思っています。

和太鼓を体験したい人は、事務局の大門秋雄さん(電話 232-4303)までお尋ねください。(市内どこの地域の方でもいいですよ)